

---

---

クリエイティブ飛鳥  
未来への風プロジェクト  
Creative asuka. "KAZE" project to the future

---

---

2016年度 実施報告書

# クリエイティブ飛鳥 未来への風プロジェクト

Creative asuka. "KAZE" project to the future



Creative飛鳥・未来への風プロジェクト

## 「Creative飛鳥・未来への風」の活動を終えて

古き都・飛鳥宮跡の広がりをもつ明日香村から、現代の芸術文化を発信しようと「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会が組織されて4年目を迎えている。

2016年度、最初の発表として第4回「飛鳥アートヴィレッジ」は、全国公募で選出された3名の作家による「瀬々の音 玉藻のゆらめき」をテーマに、南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館で開催（2016年11月19日～27日）された。

新年を迎えた2017年1月22日には第3回「飛鳥・音の風景」が明日香村中央公民館で開催された。第1部は「飛鳥の音色」をテーマに作曲家辻本梨恵さん（明日香村出身）が実行委員の松岡剛宏氏（声楽家）とブレトークをされ、飛鳥をイメージして作曲された作品をピアノで演奏された。第2部では、前年に続き天理シティーオーケストラによる「みんなで気軽にクラシック」をテーマに管弦楽で参加者を魅了した。

第3回「明日香の匠展」は、奈良県立万葉文化館で開催（2017年2月18日～26日）された。明日香村在住の作家を軸に村とゆかりのある人も対象としているが、3回展では公募制とされた。新しい作家の参加をうながす試みであった。従って、作品選考のため外部審査委員として稲村和子氏（奈良県立万葉文化館長）、南城守氏（美術評論家）そして上山好庸氏（写真家）の協力を得た。

匠展での特別出品作家として、かつて「飛鳥アートヴィレッジ」に参加された栗原亜也子さん（神奈川県）と下野友嗣さん（兵庫県）が招待された。両者は、明日香の子どもによる土や水での作品作りを、また村民の言葉のイメージを造形化するという意欲的な発表を試みられた。

各ジャンルの出品者たちは、その表現のために熱い思いが必要とされ、そうした中で創作された作品には、作家の生きざまとして時代の雰囲気と明日香の土地から得た風土感の漂いが見えとれ、その事で明日香村ならではの美術展の成果を見た思いがした。

こうした美術文化の発表の場を企画した村当局の関係者に敬意を表したい。そしてこの美術展に会場を提供いただいた奈良県立万葉文化館に感謝申し上げ、展示計画に工夫を凝らしていただいた関係者にも厚く御礼申し上げます。

2017年3月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会  
実行委員長 鳥頭尾 精

## 2016年度 事業概要

### ■ コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ（創造性あふれる）」をキーワードに、

(1) 日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、

(2) 明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、

(3) 次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、

(4) 未来志向型の村づくりを実現するために、

長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

### ■ 事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村にゆかりのある作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

### ■ 実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

後援：明日香村、一般財団法人明日香村地域振興公社、公益財団法人古都飛鳥保存財団、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

### ■ 実行委員会について

・構成メンバー

実行委員長 烏頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)

副実行委員長 脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)

実行委員 境山 正甫(明日香村文化協会長)

実行委員 松岡 剛宏(バリトン歌手・大阪音楽大学演奏員)

実行委員 西川 逸人(奈良県立万葉文化館副館長)

実行委員 田中 祐二(明日香村教育委員会教育長)

・事務局／明日香村教育委員会内(〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91-1)

・実行委員会の開催

第1回 2016年 5月18日(水) 10:00～ 明日香村中央公民館 1階会議室

第2回 2016年 7月20日(水) 14:00～ 明日香村中央公民館 2階研修室

臨時 2016年 12月12日(月) 11:00～ 明日香村中央公民館 2階研修室

第3回 2017年 1月18日(水) 15:00～ 明日香村中央公民館 1階会議室

### ■ 実施概要

1) 飛鳥アートヴィレッジ

内容：公募により選抜された将来性のある若手アーティストが、明日香村の自然や歴史、風土からインスピレーションを受け従来の発想や枠組みにとらわれない作品を制作・発表(展示)するという一連の芸術創作支援プログラム。芸術活動を通じて発見される新しい明日香村の魅力・価値を広く発信することも目的としている。

### 《公募概要》

募集期間：2016年6月1日(水)～7月15日(金)

募集基準：・芸術の分野で活動する20歳以上40歳未満のアーティスト

・飛鳥（明日香村）の様々な要素を主題または題材とした作品を制作・発表できること

・明日香村民との交流事業を、制作準備または作品展示期間に必ず実施できること

・個人のSNS、ブログなどで、作品制作の活動や展覧会の情報発信に積極的に協力できること

選考方法：選考委員による提出書類の審査を経て、応募者の中から3名を選出。

選考委員：烏頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)

脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)

山中 俊広(インディペンデント・キュレーター)

《参加アーティスト(選考結果)》

楠本 衣里佳

橋川 昇平

望月 めぐみ

作品制作期間：2016年8月1日(月)～11月18日(金)

※期間中、明日香村に滞在または訪問し、作品の題材のリサーチや作品制作を順次実施。

《成果発表／作品展》

名称：作品展「瀬々の音 玉藻のゆらめき」

期間：2016年11月19日(土)～27日(日)※会期中無休

10:00～17:00(受付／16:30まで)

会場：南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館(奈良県高市郡明日香村岡1150)

入場料：無料

入場者数：610名

《関連イベント》

名称：望月めぐみ 切り絵ワークショップ「古代のかたちを作ろう!」

日時：2016年11月23日(水)12:00～16:00

会場：南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館(奈良県高市郡明日香村岡1150)

対象：小学生以上

参加費：無料(材料・道具は主催者が用意)

プログラム・コーディネート：山中 俊広

## II)「明日香の匠」展

期間：2017年2月18日(土)～2月26日(日)※但し、20日(月)は休館  
10:00～17:30(受付/17:00まで)

会場：奈良県立万葉文化館1F 企画展示室(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

内容：明日香村を拠点に活動する作家33名(公募により選考)と特別出品作家2名による  
作品展を開催。

特別出品作家：下野 友嗣 (2013年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)  
栗原 亜也子(2014年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)

出品作家：鳥頭尾 精(日本画)、鳥頭尾 忠子(日本画)、川本 恵(洋画)、勝川 喜昭(洋画)、  
勝川 京子(洋画)、中島 忍(洋画)、生駒 三恵(洋画)、上田 孝文(木版画)、  
渡会 美枝子(詩書画)、脇田 宗孝(陶芸)、田中 茂雄(陶芸)、木野村 由比子  
(陶芸)、鈴木 乃り子(陶芸)、高橋 直樹(ガラス造形)、安田 麻里(ガラス造形)、  
小林 陽介(彫刻)、上山 好庸(写真)、森本 富雄(写真)、梅田 耕吉(写真)、  
上田 由美子(写真)、岡本 路子(写真)、柳 敏明(写真)、白水 泉(写真)、  
垣内 飛翠(書芸)、稲垣 小燕(書芸)、鈴木 葩光(書芸)、中井 功子(書芸)、  
境山 晴子(書芸)、境山 正甫(書芸)、中川 愛子(紙画)、島田 清(面彫)、島田  
壽子(パッチワークキルト)、折坂 論(ギター製作)

展示・構成：山中 俊広(インディペンデント・キュレーター)

入場料：無料

入場者数：1,700名

関連イベント：工房見学「明日香村めぐりコース」

日時：「明日香の匠」展の会期中の土・日 10:00～17:00

会場：①ガラス工房「MARIGLASS」(安田 麻里/ガラス造形)

②明日香むらの吹きガラス(高橋 直樹/ガラス造形)

③明日香弦楽器(折坂 論/ギター製作)



## III)「飛鳥・音の風景」

日時：2017年1月22日(日) 14:30～[開場・楽器体験コーナー 13:30～]

会場：明日香村中央公民館 1Fホール(奈良県高市郡明日香村川原91-1)

内容：明日香村在住の音楽家がプロデュースする音楽事業を通して、明日香村にゆかりのある  
音楽家を新たに発掘するとともに、村民に上質な音楽を提供する。

出演：【第1部】『飛鳥の音色』

ピアノ：辻本 梨恵 (作曲家/明日香村出身)

※演奏前に「コンポーザーの仕事と役割」と題したトークコーナーを設定。

【第2部】『みんなで気軽にクラシック』

指揮：安野 英之

管弦楽：天理シティーオーケストラ

ピアノ：加藤 英雄

プロデュース：松岡 剛宏(ハイトン歌手・大阪音楽大学演奏員)

演出：藪川 直子(演出家・舞台監督)

音響・映像：森田 昌志

入場料：無料

入場者数：230名





南都明日香ふれあいセンター  
犬養万葉記念館

2016.11.19 [SAT] - 27 [SUN]

日本の起源で「美」を拓く。

## 飛鳥アートヴィレッジ

### 4年目の「アートヴィレッジ」を終えて

2年ぶりの開催となった通算4年目の「飛鳥アートヴィレッジ」は、今年度から実施形態を一新しました。参加アーティストは5名から3名に絞り、同時期に全員での滞在(アーティスト・イン・レジデンス)は行わずに、各自の制作スケジュールに合わせて随時明日香村に訪問・滞在する形式としました。作品制作についても、これまでは明日香の素材を自由に探して自由に制作するものでしたが、今年度からは村民との交流を通じて作品を制作することを前提としました。ワークショップを通じた村民との共同制作や、直接村民へのリサーチをおこなった制作など、村民にもアーティストの作品制作に関与していただき、それによって当プログラムへの関心を深めていただくことを目指しました。そして展示会の会場も南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館に移し、作品と鑑賞者の距離の近さを感じられる空間での開催となりました。

これまで、明日香の自然や歴史から、広く本質的な意味を探るアプローチの作品が多い傾向にありましたが、今年度の3名の参加アーティストは、共通して歌や物語、芸能や祭りなど、明日香の伝承を作品のテーマや素材にしました。今年度からの実施形態のリニューアルも主な要因となっていると思いますが、作品制作・表現における明日香の対象へのまなざしが概論・総論から各論的に移行したことが、今年度の大きな特徴でした。村に迎え入れた各々のアーティストの希望に沿った村民や素材の紹介など、運営側の対応もより円滑に進むようになり、作品の素材を探す範囲を村民の身近なところまで広げられたことは、新しい成果になりました。

この成果を通じて、明日香をテーマとした作品制作を軸に、アーティスト、村民、運営側が一定の相互理解を持つことにより、三者間の健全な関係性の深まりにも寄与していくはずだと思います。それぞれの明日香のまなざしがよりよく交差していく場として、当プログラムが機能していくことを強く願います。

山中 俊広 (2016年度 プログラム・コーディネーター / インディペンデント・キュレーター)



# 楠本 衣里佳

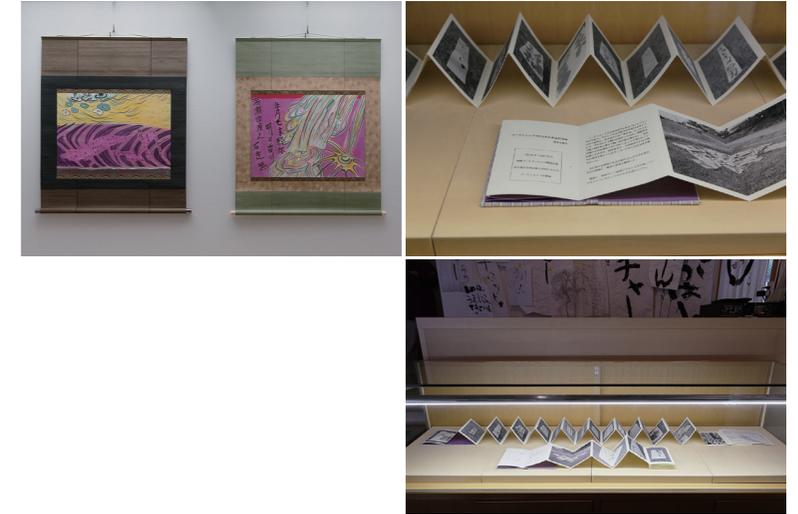
KUSUMOTO Erika

## profile

1988 大阪府生まれ  
 2013 京都精華大学大学院 芸術研究科日本画コース博士前期課程 修了

## 〈主な展覧会歴〉

- 2012 アーティスト・イン・レジデンス「Petites Cités de Caractère  
Cités d' Art de Bretagne」(ブルターニュ/フランス)
- 2013 「瀬戸内国際芸術祭 2013」高見島(香川)  
「KYOTO CURRENT」京都市美術館別館(〜'15)
- 2014 個展「夜があつまれば」芝田町画廊(大阪)  
「木津川アート2014」木津川市・徳念寺蔵(京都)
- 2015 「日本画の楽しみ-新しい表現への挑戦-」香美市立美術館(高知)  
個展「いつもの道から」ギャラリー-恵風(京都)
- 2016 「信濃の国原始感覚美術祭」千年の森自然学校・北ヤマト園(長野)



## 「Life in Asuka 2016」 ワークショップの成果物、本、映像、軸 協力：明日香村放課後児童クラブ

普段、とりとめもなく過ごしてしまう時間に潜む魅力を取り出して味わいたい。時間が絶え間なく流れていて、日々を忙しく過ごすけれど、それに忙殺されてしまわないように過去に実際に起こった出来事や目の前の出来事をゆっくりと反芻してみる、心をひらいて対象や自身と向き合うことはとても重要なことだと思う。

2016年10月18日、明日香村立明日香小学校で放課後児童クラブの生徒を対象としたワークショップを開催した。ワークショップのテーマは「水」。身近なところからどんな水が

あるのか思い出してみる。例えば、雨の水を思いついたのだとしたら、それはどんな雨だったのかをさらに掘り下げてみる。強さや、温度、その時自分は室内にいたのか屋外にいたのか。どんな匂いだったのか。そして、それを表す言葉はどんな言葉なのか。言葉を決めたら、いろんな素材、いろんなサイズに試してみる。しっくりくるまで何度でも書いてみる。そして、最後に自分の描いた作品を持って、ビデオカメラの前で実際に声に出して読む。これも、納得するまでなんテイクも行った。



## 「虚構器官11」 映像インスタレーション

文明には水源が必要だと聞いたことがあります。飛鳥ではそれはきっと飛鳥川で、歌に読まれているように僕らのご先祖さまの生活の近くには飛鳥川のせせらぎが聞こえていたんだと思います。その歌は僕らのご先祖さまが生活の中で感じ取ったものを飛鳥川の流れや、玉藻や、何かに投影したものです。読み手はその情動を言葉に置き換えることで長い時間や距離を乗り越える力を与えました。しかし、言葉にしなくても人の身体はその情動を伝えることができます。例えば興奮して脈が速くなったり、あるいは恐怖のあまり青ざめたり。それは未来に伝わるものでも遠くの誰かに伝えることができるものでもないけれど、確かに今ここにいる個人の情動を伝えることができます。芸術には言葉にならないものをコミュニケーションの場に立たせる力があります。ここでは言葉ではない身体からの出力として脈拍を読み取り、映像をリアルタイムで生成してピアノに投影しています。同時に脈拍からピアノの音を作り、飛鳥川流域で録音した自然音とともに会場に流しています。僕らのご先祖さまは生活の中で、自然から受け取ったものや自分自身の心の機微を言葉にし、環境に投影してきました。

僕らの国が生まれた時から、ずっと。川の流れが絶えないように、ずっと。

これは脈拍・川の流れ・情動・言葉を互いに投影し、過去から現在に至る人の営みを可視化する作品です。

## 「虚構器官12」 映像インスタレーション / 5分30秒

僕はインターネットを通じて誰もが自分を発信し、誰もが5分で有名になれる。たくさんの個人の物語は共有されることでやがて空気になり、時に人の意識を縛ります。そんな時代に、今ここでしか伝わるができなかった昔話や伝承は消えていこうとしています。語り手ではない誰かの物語が失われていこうとしています。文字は遠くに伝わります。空間も時間も超えて。でも、声はその場限り。文字のように正確でもないし、遠くに伝える力もない。とても不便だけれど、そこには音量があって、アクセントがあって、速さがあって、抑揚があって、間がある。声は語り手によって受け継がれ、繰り返されるごとに新たに発見され、解釈され、作られる。ここでは物語を伝える声を残します。芸術には言語化できないものをコミュニケーションの場に持ち込む力があって、文字になることでこぼれ落ちてしまったものを保存し、再び共有することができます。

私の物語ではなく、あなたと私が共有するコミュニティとしての空気を。

# 橋川 昇平

HASHIKAWA Shohei

## profile

1983	奈良県生まれ
2010	大阪美術専門学校 美術・工芸学科 卒業
2012	大阪芸術大学 美術学科 卒業

## 〈主な展覧会歴〉

2014	個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー檜plus(東京) 「尼崎アートフェスティバル」尼崎総合文化センター(兵庫)
2015	個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー檜plus(東京) 「奈良・町家の芸術祭 はならあと2015」今井まちや館(奈良)
2016	個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー檜e・F(東京)





「<sup>よ</sup> <sup>あ</sup> <sup>い</sup> 縫合」 切り絵、合成紙 協力：株式会社キヌガワ

明日香村に伝わる伝統行事、芸能を取材する中で、農村にとって命の水、水源が大切にされていることを知りました。そして、水神である龍、龍神の存在に各所で出会いました。また明日香村においては、男綱、女綱のカンジョウ掛けや飛鳥坐神社における夫婦和合の

儀式おんだ祭、八雲琴の白と青緑の二色の弦が天地を表すというように、陰陽で対となっているところが特徴的に感じられ、二頭の龍が縄のように絡り合う姿を描きました。龍の通った跡に稲穂が実るイメージで、光の粒を彫り込みました。

profile

1978 神奈川県生まれ  
2003 東京学芸大学 教育学部 D類美術工芸専攻 中退

〈主な展覧会歴〉

- 2008 個展「Mochime Paper-cutting Exhibition」銀座Angel Dolls(東京)
- 2014 「EWAAC2014入選作品展」La Galleria Pall Mall(イギリス)
- 2014 個展「望月めぐみ切り絵作品展」大原宝泉院(京都)
- 2015 「日本文化月間・切り絵作品展」The City Art Gallery Plovdiv(ブルガリア)
- 2016 個展「さくら満ちて」岩倉実相院門跡(京都)

## 望月 めぐみ

MOCHIZUKI Megumi



「Voice」 切り絵、合成紙

あるときはモノとモノを「繋ぎ」、横に張られれば結果として「断つ」存在となる。縄。一筋に様々な意味合いを含む「縄」に、ねじれの生む造形の面白さも相まって、惹かれ続けています。明日香村では男綱、女綱のカンジョウ掛けに携わっている方にお話を伺い、実際に縄を纏る手振りを見せていただいたことがとても印象的でした。この作品では、右捻り、左捻り渾然となって降りてくる縄をモチーフとし、始まりも終わりもない長い時の物語、「声」の象徴として描きました。

「飛鳥アートヴィレッジ」関連イベント  
「古代のかたちを作ろう!」  
2016.11.23 [WED] 12:00-16:00



# 「明日香の匠」展

奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室

2017.2.18 [SAT] - 26 [SUN]

## 下野 友嗣

SHIMONO Yuji

### profile

1984 兵庫県生まれ  
2007 大阪芸術大学 美術学科卒業

### 〈主な展覧会歴〉

2010 個展galleryAO (兵庫)  
2011 個展Art space gallery MARU (韓国)  
2014 「飛鳥アートヴィレッジ -宙の土 土の宙-」奈良県立万葉文化館 (奈良)  
2015 When The Wind Blows 風が吹くとき\_ (Northern Ireland, UK Millennium Court Arts Centre)  
2015 「下町芸術祭」地域人材センター (兵庫)  
2016 「KOBE ART MARCHE」メリケンパークオリエンタルホテル (兵庫)  
2016 第六回「天祭一〇八」増上寺 (東京)  
2016 個展gallery 301 (兵庫) 15.14.13.12.11

### 希望の明日香へつながる(自分も)

明日香村民の方々を対象に、私のいつもの制作方法で作品を作るワークショップを行いました。制作についてのテーマは自由に設定しましたが、参加者の作品に取り込まれた文字や言葉には、希望を感じさせるものが多く見られました。共に展示をしています私の作品は、ワークショップの参加者の作品に合わせて「希望」をテーマに、ワークショップの作業の際に出た紙の端切れなどを使って制作しました。

また、何度も明日香を訪れるうちに、私と明日香との関わりは変わったのだろうか？と考えていた矢先に、私がアトリエに使っていた祖父の家が、家庭の事情で売りに出されることになりました。父親と祖父が産まれた家なので、今はとても名残惜しい思いがあります。

しかし、人ともとの関わりが何度も重なり合うことは、その人の人生を形作ることである一方で、その束縛から逃れられないこともあると考え、今回の展示では明日香と自分の関係と、自分と自分の家系の関係を比較できるように内容にしました。



【写真(大) 左より】  
《私が考えた明日香》 画用紙、鉄錆、ラミネート、ミクストメディア  
《希望の明日香》 画用紙、鉄錆、水張りテープ、ミクストメディア  
協力：明日香村社会福祉協議会  
《明日香につなげる》 鉄錆、水張りテープ、ミクストメディア  
《下野家と自分》 家の床材、釘、鉄棒、ねじ



〔写真(大) 左より〕

《土と光のおセロ》 明日香村の間伐材(ヒノキ)、コンパクトディスク、明日香村の土、ラメパウダー、木工用ボンド、他  
 ワークショップ協力：明日香小学校、明日香村放課後児童クラブ  
 材料提供・制作協力：明日香村森林組合 荒川 晴男 氏

《Mind Games ～あたらしい星～》 明日香村の土、飛鳥川の水、ボンド、インク、ラメパウダー、ハーブミラー塩ビ板、他  
 協力：明日香小学校、明日香村放課後児童クラブ

《Work in Progress》ビデオ



特別  
出品  
作家

## 栗原 亜也子

KURIHARA Ayako

### profile

1974 神奈川県生まれ  
 1999 愛知県立芸術大学 美術学部油画 卒業

### 〈主な展覧会歴〉

- 2006 個展「MindGames」BankART studio NYK (神奈川県)
- 2010 個展「ビクチャーズ」エドウィン・アール・モレナール アトリエ (神奈川県)
- 2013 「the Line \_ Art, Open the Way for Reunification」  
平和ヌリ公園／臨津閣非武装地帯 (韓国バジュ市)
- 2013 「Heritage 600 = Tomorrow 600」アラム美術館 (韓国ゴヤン市)
- 2015 「飛鳥アートヴィレッジ-彼方のうつわ-」国営飛鳥歴史公園 (奈良)
- 2015 「飛鳥光の回廊2015」伝飛鳥板蓋宮跡 (奈良)
- 2015 個展「Mind Games」HRD ファインアート (京都)
- 2016 「黄金町バザール2016」黄金町エリアマネージメントセンター (神奈川県)

飛鳥アートヴィレッジ

## Mind Games ～あたらしい星～

むかしの人が描いた絵を 今を生きるわたしたちが見ているという不思議

土のうえに雨が降り、川はながれて石を運ぶ

木には花が咲き、葉は落ちて地面に降り積もる やがて土になる

土に埋もれたわずかなきらめきを わたしたちは見つけた

夜、空を見あげれば暗闇に光るたくさん星

その光は宇宙のなかで、どれくらい前に放たれたのだろうか

光のキャンパスに“土のえのぐ”と“水のえのぐ”を幾重にも重ねて絵を描こう

わずかに残るきらめきはきっと星になる

今を生きるわたしたちがこの光をそらに放てば

未来のどこかで誰かがきっと見つけてくれるだろう

この作品は明日香村の小学生との共同制作です。子どもたちが明日香村の各所で採取した土で「土のえのぐ」をつくり、飛鳥川の水には青いインクをまぜて、「水のえのぐ」をつくりました。2チームに分かれて、オセロ・ゲームの要領でお互いに自分のチームの絵の具をスプーンですくって相手の色のうえに塗り重ねる、「ドロップング・オセロ・ペインティング」を行いました。子どもたちは初めのうち、慎重にオセロの陣取り合戦に興じていたのですが、そのうち手や足(ときには服も)をえのぐでベタベタにしながら大胆なアクション・ペインティングを楽しんでいました。そして土と水のえのぐが幾重にも重なったマーブル模様のような絵ができてきました。キャンパスの隙間にわずかに残った金色が光のようにきらめいています。明日香の子どもの手によってつくられた独特な質感と色彩、それはまるで、「あたらしい星」の地表のようでした。



左から：《明日香の月》、《京の月》

日本画

## 烏頭尾 精

UTOO Sei

1932年明日香村生まれ。京都市立美術大学卒業。1959年新制作展新作家賞、以後2回受賞。1960年奈良県文化賞。1992年日本経済新聞社「現代日本画俊英烏頭尾精」東京・名古屋・京都開催。京都日本画秀作展優秀賞、京都市芸術功労賞、地域文化功労者表彰など受賞。現在、創画会会員、京都教育大学名誉教授、京都日本画家協会顧問。



左から：《うつろふ》、《ぬばたまの》

日本画

## 烏頭尾 忠子

UTOO Tadako

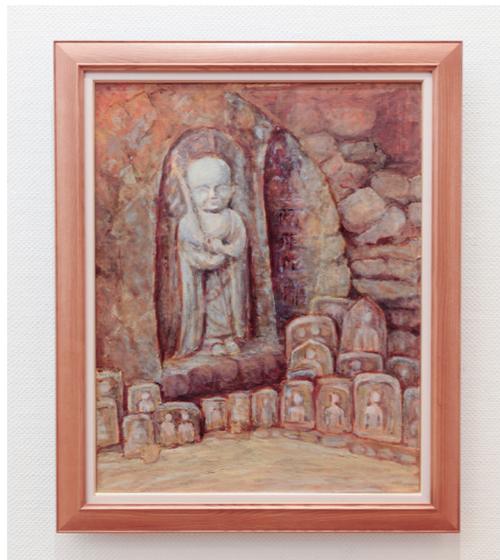
1936年奈良県御所市生まれ。京都女子大学卒業。奈良教育大学附属幼稚園退官後、大阪教育大学、奈良教育大学、奈良文化女子短期大学にて非常勤講師を務める。奈良県展にて県展賞、知事賞、文部大臣奨励賞を受賞。近鉄奈良店美術画廊にて個展(他10回)。絵本(共著)、画集等出版。現在、奈良県美術人協会会員、奈良県展招待作家。



洋画

# 川本 恵

KAWAMOTO Megumi



〈石佛〉

1938年奈良県大和高田市生まれ。1961年奈良学芸大学芸術科(現:奈良教育大学)卒業。以後1992年まで葛城市白鳳中学校に勤務し、退職。在職中、数年間奈良県図工・美術科指導員。1960年高田洋画会賞。1962年県展入賞、高田市美術展市展賞、研水会展入選。退職後、奈良県美育懇話会に参加し、作品展に出品。

洋画

# 勝川 喜昭

KATSUKAWA Kisho ●

1938年明日香村生まれ。2002年明日香郵便局長退任。2001年～2011年明日香村伝承芸能保存会長。2009年～2015年新協美術会奈良・大阪支部展に各年入選。2010年～新協美術展(東京都美術館他)に入選6回。2012年新人努力賞、新協美術会友推挙。2016年新協美術会奈良支部展にて奈良市長賞。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブに所属。



〈風景〉



〈明日香の風景〉

洋画  
勝川  
京子

● KATSUKAWA Kyoko

1938年兵庫県姫路市生まれ。1961年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。2009年～2016年新協美術会奈良・大阪各支部展に各年入選。2010年～2016年新協美術展（東京都美術館他）に各年入選。2014年奈良新協美術努力賞、新協美術協会友推挙。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブ、コーラス明日香風に所属。



〈拙〉

洋画

中島 忍 NAKAJIMA Shinobu

●

1975年島根県生まれ。2009年より明日香村在住。学生時代より油絵を始める。1999年、2000年昭和美術会展、2001年伊吹を描く展覧会、2009年飛鳥スケッチコンクール入選。毎年、グループ展を開催。現在、インターネットカルチャー講座「Commutto」の油絵講師を勤める。

洋画

# 生駒 三恵

IKOMA Mie



《あすかで遊ぶ》

1967年和歌山県紀の川市生まれ。1992年より明日香村在住。奈良芸術短期大学建築・インテリアコースを経て、透明水彩とクレパスを使って、風景スケッチの中に空想の世界がある作品づくりを行う。2011年日本表現派関西支部展入賞。



《命のリレー》

木版画

# 上田 孝文

UEDA Takafumi

1948年奈良県下市町生まれ。1980年より明日香村在住。2008年学校教員を退職し、版画家・清田雄司氏に師事し、創作活動始める。奈良県美術展覧会や奈良県高齢者展、教職員展等に出展し入選・入賞する。現在、各地に赴いて写生をしたり、物を見つめて描いたりすることを楽しみに木版画を制作。



《稔り》



〈音ずれ〉



〈龍と土産〉

詩書画

## 渡会 美枝子

WATARAI Mieko

1969年東京都生まれ。1987年ロンドン大学英文学コース修学。帰国後筆墨の手ほどきを岡田紀子氏に、書画を絵手紙創始者小池邦夫氏、恭子氏に師事。2004年、2011年熊谷守一美術館ギャラリー「詩書画展」発表。2012年広島三越で個展。2013年より明日香村在住。2014年、2016年近鉄上本町店他、個展開催。



〈飛鳥流沙〉

陶芸

## 脇田 宗孝

WAKITA Munetaka

1942年生まれ。タイルデザイナーを経て、祖父の地・明日香村に「飛鳥赫窯」を開窯。個展(近鉄百貨店・アベノハルカス開店記念展など)、公募展に出品・受賞。また、古代窯業(巨大埴輪・奈良三彩・埴仏・古代ガラス玉など)の研究論文・復元製作をおこなう。著書に『世界やきもの紀行』・『陶彩逍遥』・『陶の語り部』。京都市立芸術大学非常勤講師・放送大学客員教授を経て、現在、奈良教育大学名誉教授。

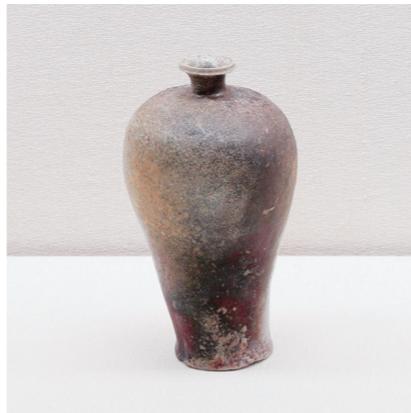
陶芸

## 田中 茂雄

TANAKA Shigeo



1963年京都府生まれ。古陶磁に魅せられ土や石、釉薬の研究を行う。その後、李朝・桃山時代の古陶磁を手本として独学で焼き物を作り始める。2007年より明日香村在住。2010年穴窯を築窯、窯名は「李溪窯」。2016年倒炎式薪窯を築窯。各地で個展を中心に活動を行う。



〈土器「梅瓶」〉



〈窯変「柿の葉茶碗」〉

陶芸

## 木野村 由比子

KINOMURA Yuiko



1946年愛媛県新居浜市生まれ。北葛城郡河合町在住。1984年より脇田宗孝氏に陶芸を学び、1997年自宅に「炫窯」を築窯。奈良県美術展覧会工芸の部、彫刻の部に出品を重ねる。2013年スペース・バナクティ(平群町)にて個展を開催。近年は主に鳥をテーマにした作品を制作している。



〈緑風〉



〈緑原〉

陶芸

# 鈴木 乃り子

SUZUKI Noriko

東京都生まれ。北葛城郡河合町在住。脇田宗孝氏に師事。2005年より毎年、奈良県美術展覧会に出品し、2010年、2011年県展賞受賞、2012年～招待出品。2006年明日香村文化協会入会。2010年明日香村美術展出品、明日香村古代ガラス復元活動に参加。



〈蛸はじき流水文組皿〉

# ガラス造形 高橋 直樹

TAKAHASHI Nawoki

1951年東京都生まれ。日本大学理工学部卒業。10年間岩津硝子桜井工場にて吹きガラス職人として勤務。1983年より明日香村在住(明日香むらの吹きガラス工房立ち上げ)。1984年東急ハンズ大賞デザイン賞、1985年世界ガラス会議コンテスト第3位入賞、西部アトリエヌーボー・コンペ西武美術館長賞他を受賞。フランス、ドイツ、アメリカ、中国他、毎年全国各地で開催。

〈色々な模様〉



〈雪模様〉





左から：「ニケの文落く」、「水鳥の器く」

ガラス造形

## 安田 麻里

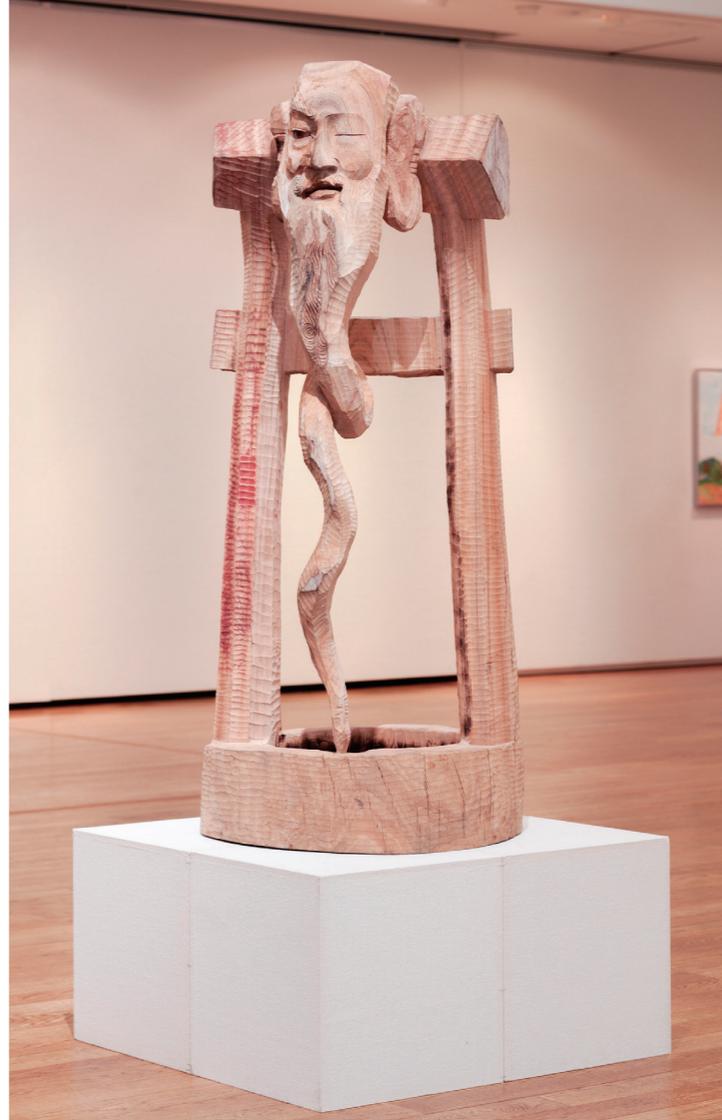
YASUDA Mari

1957年生まれ。京都市立芸術大学大学院彫刻科修了。現代彫刻の制作活動後、ガラスを主な素材として制作を始める。1992年明日香村に工房「MARIGLASS」を設立。「国際ガラス展金沢」、「日本現代ガラス展」、「日本のガラス展」等に出品。現在、自宅工房とリサイクル館かしはらで教室を主宰。日本ガラス工芸協会会員。

彫刻

## 小林 陽介

KOBAYASHI Yosuke



〈自刻トルン〉

1981年長野県生まれ。2004年東京造形大学彫刻科卒業。明日香村に転居。国展新人賞、京展賞、秀桜基金留学賞、四万十川カッパ造形大賞最優秀作品賞、木彫フォーカアートグランプリ他を受賞。サロンギャラリー余白（名古屋）、画廊飛鳥、ギャラリー勇斎（奈良）、瀬戸内市立美術館（岡山）他で個展等を開催。

写真

# 上山 好庸

UEYAMA Yoshinobu

●

1950年明日香村生まれ。奈良新聞社を経て1986年フリーランスに。出版社等の取材撮影を行う傍ら、ライフワークとして大和路、主に飛鳥の撮影を続ける。著書に「万葉・明日香路」光村推古書院、別冊「飛鳥」平凡社など。近鉄文化サロン、奈良講師（公社）日本写真家協会（JPS）会員。



左から：〈静寂〉、〈夏の夕〉

写真

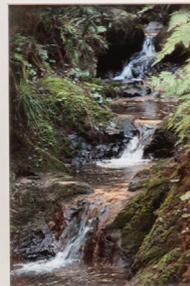
# 森本 富雄

MORIMOTO Tomio



〈休日〉

1944年大阪府大阪市生まれ。1968年より明日香村在住。1978年写真家・入江泰吉氏に師事。朝日新聞社国際写真サロン、奈良県展、オリエンタルスポーツ写真、三菱月光、富士フィルム、ニコン等で多数受賞。奈良県文化会館「日記帳」、大阪ミノルタ「飛鳥夢幻」、ニコンサロンbis大阪「私景飛鳥」「水都大阪・今」、大阪府近つ飛鳥博物館「遠つ飛鳥」等の写真展を開催。



〈永永と〉

写真

梅田  
耕吉

UMEDA Kokichi

1934年奈良県下市町生まれ。奈良学芸大学(現:奈良教育大学)卒業後、小学校教諭となる。視聴覚教育・放送教育の研究に携わり、文部大臣賞、県教育選奨を受賞。1993年より明日香村在住。「奈良県高齢者写真コンクール」、「明日香路を写そう写真コンクール」入賞多数。2007年奈良市写真美術館にて写真展「吉野川・千石橋」(個展)を開催。現在、明日香村文化協会代表理事。

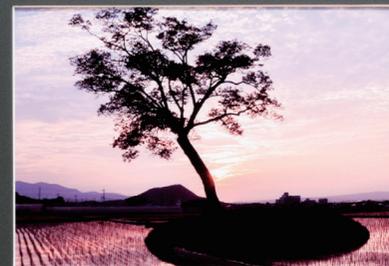
写真

上田 由美子

UEDA Yumiko



1947年和歌山県生まれ。1972年結婚を機に奈良県に移り、小学校教諭として勤務。1980年より明日香村在住。退職後写真に興味を持ち、明日香に残る原風景や伝統行事などを撮影する。「明日香路を写そう写真コンクール」入選、「教職員展写真の部」等で入賞。



〈明日香—静かなる刻—〉



〈秋日和〉

写真

岡本 路子

OKAMOTO Michiko

1947年生まれ。京都衣笠で育ち、奈良へ転居。1972年より明日香村在住。石舞台、明日香川の四季の詩(うた)を撮り続けている。第26回「明日香路を写そう写真コンクール」に「洞落」(ちょうらく)で特選、同コンクール入選4回。天理写真展で長岳寺賞主賞受賞。現在、明日香村文化協会常任理事。



左から：〈夕映え〉、〈乱舞〉

写真

柳 敏明

● YANAGI Toshiaki

1949年奈良県下市町生まれ。1981年より明日香村在住。2002年「明日香路を写そう写真コンクール」入賞以来、5年連続入賞等。2013年、2014年同コンクールで明日香路賞を2年連続で受賞。その他、全日本写真連盟「なら写真展」入選、「全日本動物写真コンテスト」入選など受賞多数。現在、全日本写真連盟奈良県本部に在籍。



左から：〈 幻想石舞台 〉、〈 暮れゆく飛鳥 〉

写真 白水 泉 SHIROUZU Izumi

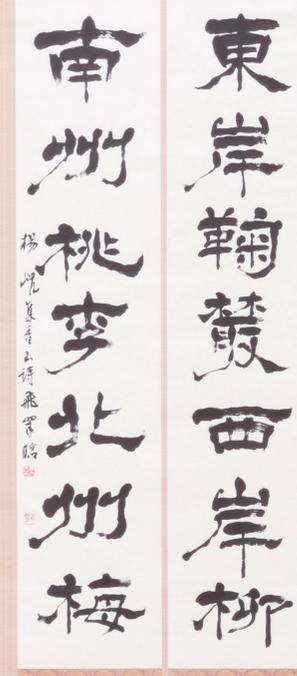
1952年生まれ。明日香村に在住。2003年～2006年「道の日フォトコンテスト」入選、2007年福岡県知事賞、2010年「太宰府古都の光写真コンテスト」太宰府市賞、2011年太宰府観光協会賞、2014年～2015年「竹内街道・横大路デジタルフォトコンテスト」入選、2015年「国営飛鳥歴史公園ハガキフォトコンテスト」最優秀賞など多数受賞。

書

垣内 飛翠

KAITO Hisui

1922年明日香村生まれ。1942年奈良県女子師範学校(現:奈良教育大学)卒業。国貞寿翠氏、福中悠光氏、米田玉泉氏に師事。1976年より書道講師を務める。1985年「日本の書展」出品(以降6回)、1990年、1994年「韓日書芸招待展」出品、個展3回、書道クラブ展3回実施。1975年より関西大学「飛鳥史学文学講座」のテーマの揮毫を36年間務め、2012年1月関西大学より感謝状が授与される。現在、明日香村文化協会常任理事であり名誉会員。



〈 揚峴集香山詩 〉

書

稲垣 小燕

INAGAKI Shoen



〈燦〉

1947年大阪府生まれ。1966年川崎白雲氏に師事。毎日書道展大字書部毎日賞、書道芸術院漢字部準大賞など多数受賞。心斎橋豊田ビルイベントフロアにおいて個展を開催。現在、毎日書道展大字書部審査会員（公財）書道芸術院理事（公社）全日本書道連盟正会員、燕京書道交流会常任理事、高野山書道協会参与、明日香村文化協会常任理事（財）小燕会理事長。

書

鈴木 葩光

SUZUKI Hakou



1939年大阪府生まれ。橋本芳邨氏、藤岡九波氏に師事。日本書芸院、日展、毎日展などで多数受賞。1971年丸善美術にて作品を常設、フリー万葉作家となる。二人展（京都・橘屋ギャラリー）、日本の秀作美術展（ニューヨーク）、日仏美術展、書家50周年・60周年記念個展「飛鳥とともに」など次々と作品を発表。これまで茨城大学、奈良芸術短期大学で非常勤講師を務める。



〈Heart 万葉歌〉



〈Longing 万葉歌〉



左から：《遊於芸》、《以和為貴》

書

中井 功子

NAKAI Noriko

1955年明日香村生まれ。西橋香峰氏、池田毓仁氏に師事。日本書芸院二科審査員。読売書法展・会友。2013年「奈良県美術展覧会」にて奈良県議会議長賞を受賞。



《石井(甲骨文)》



《龍神(甲骨文)》

書 境山 晴子

KYOYAMA Haruko

1940年奈良県野迫川村生まれ。1963年奈良学芸大学(現:奈良教育大学)卒業後、奈良県公立学校教員となる。その後、米田玉泉氏に師事し書を始める。真弓会(米田玉泉氏の一門生で作る書道研究会)に所属し書展に出品。独学で甲骨文字を研究し作品を作る。日本画、押し花、短歌(2014年11月短歌集「火口湖」出版)などを趣味とする。明日香村文化協会会員。



《正信偈(篆刻)》

書

## 境山 正甫

KYOYAMA Masamoto

1940年橿原市生まれ。1963年奈良教育大学卒業後、奈良県の公立学校の教員となる。2001年退職後、香芝市教育委員会学校教育課指導主事を務める。2003年篆刻家喜多芳邑氏に師事し、篆刻をはじめ。日本篆刻家協会委員、日本書芸院一科員、明日香村文化協会長。



《山上内内内内(篆刻)》



《天上の華》

1932年大和高田市生まれ。1984年万葉紙画集を出版。1986年NHKのテレビ番組「紙画で画く大和」で作品が紹介される。1986年「万葉紙画集原画展」(橿原文化会館)、1990年「秋の秀作美術展」(ニューヨーク)に出展。1991年「ミレー展」(フランス)にてフォンテーヌ・ブロー市長賞受賞。その他、仏・伊・米・韓・台等にて受賞多数。現在、ミレー友好協会日本支局委員、まほろば紙画教室を主宰。

紙画

## 中川 愛子

NAKAGAWA Aiko



《孤高の桜》

面彫  
島田清

SHIMADA Kiyoshi

1944年明日香村生まれ。建築業を営むかたわら、1975年おもての会入会。北澤三次郎氏のもとで、能面打ちを始める。1976年大阪芸術センター主催の作品展に出品。1985年おもての会を退会。2010年京都市美術館「能面展」、2012年奈良文化会館「能面展」に出品。2014年東京国立博物館「飛鳥—キトラ2016—」に天狗面、お多福面を出品。



〈能面(小面)〉



〈イングリッシュガーデンに憧れて〉

パッチワークキルト

島田 壽子

SHIMADA Toshiko

1997年より、本格的にパッチワークキルトを始める。2005年より自宅にてパッチワークキルト教室「Cotton Garden」を主宰。世界最大級の米国コンテストにて金賞・銀賞、国内でも多数の受賞歴がある。自宅花壇の草花をモチーフに、ピーシング、アップリケ、キルト、刺繍等の手法を用いた布の世界を表現。国内外へ向けて手仕事の素晴らしさを発信し続けている。



ギター製作

## 折坂諭

ORISAKA Satoshi ●

1967年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部卒業、神戸大学経済学研究科中退。楽器商社で主に企画業務に携わる。2012年より明日香村在住。ギター・ウクレレ製作工房「明日香弦楽器」を設立。手作りの製作技法を基本に、飛鳥・天平期の美術を取り込んだ楽器を作り出している。

左から：《コンサートウクレレ U2B》、《アコースティックギター 151FC》



## 「飛鳥・音の風景」

明日香村中央公民館 1階ホール

2017.1.22 [SUN]



作曲家

辻本梨恵

TSUJIMOTO Rie



明日香村出身/東京都在住

5歳よりピアノとエレクトーンを始める。立命館大学在学時、海外留学の経験をきっかけに作曲家を志す。2010年同大学を卒業後、上京。専門学校にて作編曲やプログラムを本格的に学ぶ。現在は映画、ドラマ、CMなど、主に映像音楽の分野で幅広く活動し、英語力を生かして海外のプロジェクトにも積極的に参加している。年に数回は明日香村に帰省し、その度に村の魅力を再認識。

「大きなエネルギーをもらって、いつも東京に戻ります。」と、故郷への愛情を創作活動に生かしている。





管弦楽

## 天理シティーオーケストラ

Tenri City Orchestra

● 天理市を拠点とするアマチュアオーケストラとして2001年に創設。現在では、関西の広域から約40名の団員が集まり、定期演奏会や年末の第九コンサートの他、未就学児童とその保護者のためのキッズコンサートや県内小学校への訪問演奏も精力的に行っている。創設時より安野英之氏および弦楽器トレーナーの指導により、市民オーケストラとして目覚ましい発展を遂げている。

指揮

安野英之

● YASUNO Hideyuki

京都市立芸術大学音楽学部卒業後、同大学大学院修士課程修了。チェロを岩谷雄太郎氏、上村昇氏に師事。指揮法を齊田好男氏に師事。現在、天理シティーオーケストラ常任指揮者、天理教音楽研究会講師、奈良県立高円高校音楽科非常勤講師、天理市音楽芸術協会理事。これまでに天理シティーオーケストラ、天理教音楽研究会オーケストラ・合唱団、高円高校音楽科オーケストラ・合唱団、奈良オーケストラフェスティバルでの合同オーケストラ等を指揮しいずれも好評を博した。2010年からは天理市主催「大人のためのおもしろ音楽講座」の講師を務めるなど、市民に音楽を広める活動にも力を入れている。2011年11月、天理シティーオーケストラにおける長年の功績が認められ、天理市より教育表彰された。





ピアニスト **加藤 英雄** KATO Hideo

大阪音楽大学音楽専攻科修了、同大学卒業演奏会出演。第8回全日本彩明ムジカ・コンクール最高位受賞。モスクワ音楽院にてマスタークラスを修了。イタリア・ミラノにあるカーサ・デ・ヴェルディにて、日伊交流コンサートに出演し称賛を浴びる。第11回大阪国際コンクールピアノ部門第3位受賞。びわ湖ホールでの練習ピアニストを務める。2016年1月ザ・シンフォニーホールにて大阪市音ウインドオーケストラと共演。兵庫芸文小ホールで第九合唱を毎年主宰し、好評を博す。また、明るく楽しい合唱の指導等も行い地域密着型でトークや笑いを交えたコンサートを開催している。



「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会 実行委員  
「飛鳥・音の風景」プロデューサー

**松岡 剛宏** MATSUOKA Yoshihiro

1975年奈良県生まれ。大阪音楽大学声楽専攻卒業後、関西歌劇団に入団。その後渡米し、C.Aks氏のもとで研鑽を積む。帰国後、「椿姫」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「賢い女」など、数々のオペラに出演。2002年、R・コルサコフ国際声楽コンクールにて「聴衆特別賞」「ベストロマンスシンガー賞」など4つの賞を受賞。2007年チャイコフスキー国際音楽コンクールの声楽部門にて日本人男性唯一の予選通過者となる。関西学院高等部講師を経て、現在、大阪音楽大学演奏員。明日香村在住。



演出家・舞台監督

**籾川 直子** YABUKAWA Naoko

大阪音楽大学器楽学部ピアノ科卒業後、同大学専攻科声楽学科演出修了。在学中に中村敬一氏、井原広樹氏、故芦田鉄雄氏に師事。関西を中心にオペラ演出として活動。「コジ・ファン・トゥッテ」、「愛の妙薬」、「トゥーランドット」、「蝶々夫人」、「ドン・パスカルレ」等を演出、好評を得る。伊丹市芸術家協会会員。

当日プログラム

開演前/13:30~ 楽器体験コーナー

《第1部》 「飛鳥の音色」

辻本 梨恵 (作曲 演奏)

プレトーク:「コンポーザーの仕事と役割」

♪ 演奏「飛鳥の音色」

《第2部》 「みんなで気軽にクラシック」

ピアノ独奏:加藤 英雄 / 指揮:安野 英之 / 管弦楽:天理シティーオーケストラ

♪ 歌劇「フィガロの結婚」序曲 (モーツァルト)

♪ 加藤 英雄:ピアノ名曲メドレー

♪ 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章 (モーツァルト)

♪ ピアノ協奏曲第20番 ニ短調 K.466より 第2楽章 (モーツァルト)

♪ ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11より 第2楽章 (ショパン)

● 指揮者体験コーナー

~ ♪ 喜歌劇「天国と地獄序曲」より「カンカン」(オッフエンバック) ~

♪ 交響曲第9番「合唱付き」ニ短調 作品125より 第4楽章(抜粋) (ベートーヴェン)

♪ 歌劇「カルメン」より「ハバネラ」(ビゼー)

♪ 行進曲「威風堂々」第1番 ニ長調 (エルガー)

● 会場みんなで合唱

~ ♪ ふるさと (岡野 貞一) ~

メディア掲載

平成28年11月26日(土) 産経新聞

切り絵や日本画など  
飛鳥の魅力感じて  
明日香で作品展

「明日香の匠展」が、飛鳥の魅力を伝えるのに役立つ。切り絵や日本画など、さまざまな作品が展示されている。会場には、飛鳥の歴史や文化に関するパネルも設置されている。また、明日香の魅力を伝えるためのイベントも開催されている。

平成29年2月19日(日) 奈良新聞

万葉文化館で「匠展」  
飛鳥から芸術  
文化を発信

ガラス造形など幅広い作品52点

「匠展」は、飛鳥の魅力を伝えるのに役立つ。ガラス造形など、さまざまな作品が展示されている。会場には、飛鳥の歴史や文化に関するパネルも設置されている。また、明日香の魅力を伝えるためのイベントも開催されている。

平成29年2月21日(火) 読売新聞

明日香匠の技 一堂

「匠展」は、飛鳥の魅力を伝えるのに役立つ。明日香の匠の技を一堂に集めて展示されている。会場には、飛鳥の歴史や文化に関するパネルも設置されている。また、明日香の魅力を伝えるためのイベントも開催されている。

平成29年2月24日(金) 産経新聞

明日香の魅力 アートで堪能

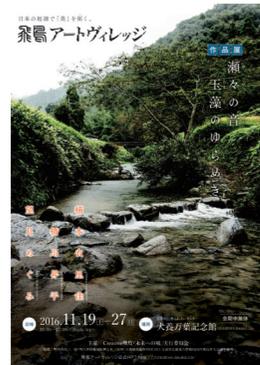
絵や彫刻など万葉文化館で展示

「匠展」は、飛鳥の魅力を伝えるのに役立つ。絵や彫刻など、さまざまな作品が展示されている。会場には、飛鳥の歴史や文化に関するパネルも設置されている。また、明日香の魅力を伝えるためのイベントも開催されている。

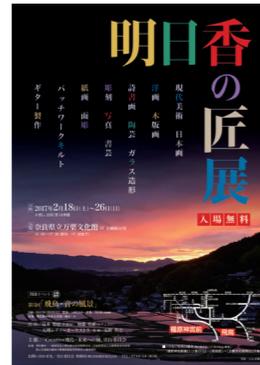
広報ツールのデザイン



飛鳥アートヴィレッジ 募集



飛鳥アートヴィレッジ 展覧会



「明日香の匠」展



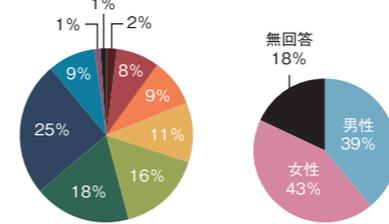
「飛鳥・音の風景」

「飛鳥アートヴィレッジ」に関するアンケート

(対象者：「飛鳥アートヴィレッジ」来場者 610 人 / 回答者 = 194 人)

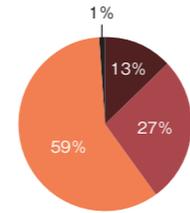
問1：性別と年代をお聞かせ下さい。

10代未満	3人
10代	15人
20代	17人
30代	21人
40代	32人
50代	35人
60代	49人
70代	18人
80代以上	2人
無回答	2人



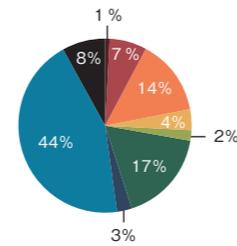
問2：どちらから来られましたか？

村内	23人
村外(県内)	54人
県外	116人
無回答	1人



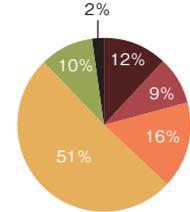
問3：当イベントを何で知りましたか？(複数回答あり)

マスコミ	1人
出品作家から	15人
友人・知人から	28人
村の広報誌	9人
明日香村HP	5人
ポスター・チラシ	34人
インターネット	7人
その他	89人
無回答	16人



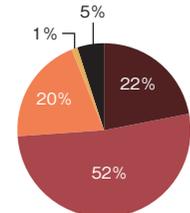
問4：来館理由について教えてください。(複数回答あり)

美術に関心がある	25人
友人・知人が出展	19人
友人・知人に誘われて	32人
偶然	105人
その他	20人
無回答	3人



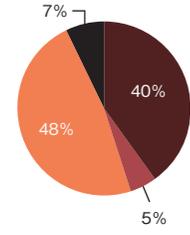
問5：当イベントについての満足度は？

大変満足	43人
満足	101人
普通	39人
あまり良くなかった	2人
良くなかった	0人
無回答	9人



問6：次回も来館したいですか？

来館する	77人
来館しない	10人
わからない	93人
無回答	14人

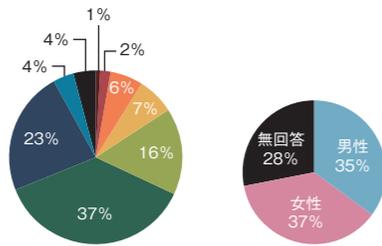


## 「『明日香の匠』展」に関するアンケート

(対象者:「明日香の匠展」来場者 1,700 人/回答者 =341 人)

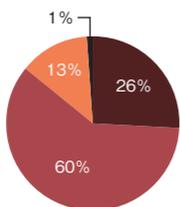
問1:性別と年代をお聞かせ下さい。

10代	5人
20代	7人
30代	19人
40代	24人
50代	53人
60代	125人
70代	80人
80代以上	15人
無回答	13人



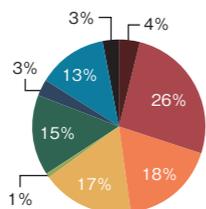
問2:どちらから来られましたか?

村内	88人
村外(県内)	203人
県外	46人
無回答	4人



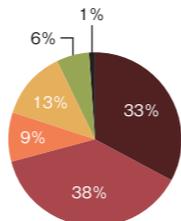
問3:展覧会を何で知りましたか? (複数回答あり)

マスコミ	16人
出品作家から	95人
友人・知人から	64人
村の広報誌	60人
明日香村 HP	3人
ポスター・チラシ	56人
インターネット	12人
その他	47人
無回答	9人



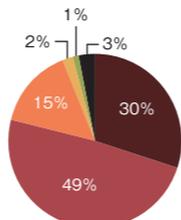
問4:来館理由について教えてください。(複数回答あり)

美術に関心がある	122人
友人・知人が出展	142人
友人・知人に誘われて	33人
偶然	48人
その他	21人
無回答	6人



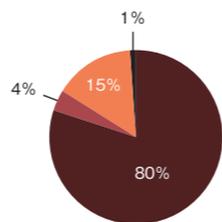
問5:当日イベントについての満足度は?

大変満足	106人
満足	170人
普通	53人
あまり良くなかった	4人
良くなかった	2人
無回答	6人



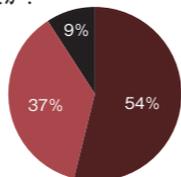
問6:次回も来館したいですか?

来館する	271人
来館しない	13人
わからない	51人
無回答	6人



問7:明日香で作家が創作活動をしているのをご存知でしたか?

知っていた	185人
知らなかった	125人
無回答	31人

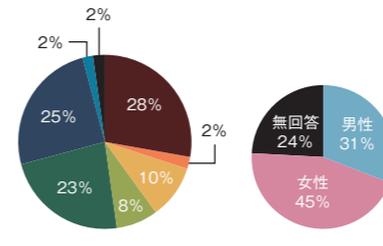


## 「飛鳥・音の風景」に関するアンケート

(対象者:「飛鳥・音の風景」来場者 230 人/回答者 =51 人)

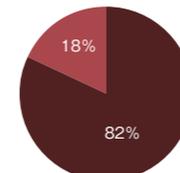
問1:性別と年代をお聞かせ下さい。

10代	14人
20代	0人
30代	1人
40代	5人
50代	4人
60代	12人
70代	13人
80代以上	1人
無回答	1人



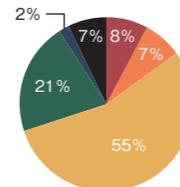
問2:どちらから来られましたか?

村内	42人
村外(県内)	9人
県外	0人



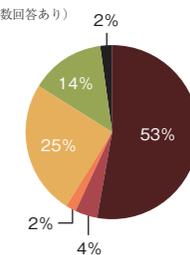
問3:当日イベントを何で知りましたか? (複数回答あり)

マスコミ	0人
出品作家から	5人
友人・知人から	4人
村の広報誌	32人
明日香村 HP	0人
ポスター・チラシ	12人
インターネット	1人
無回答	4人



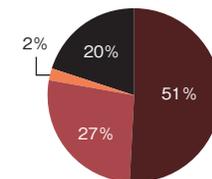
問4:当日イベントに来られた理由は何ですか? (複数回答あり)

クラシックが好き	29人
選曲が良い	2人
友人が出演	1人
友人・知人に誘われて	14人
その他	8人
無回答	1人



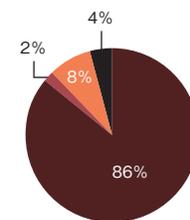
問5:当日イベントについての満足度は?

大変満足	26人
満足	14人
普通	1人
あまり良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	10人



問6:次回も参加したいですか?

来館する	44人
来館しない	1人
わからない	4人
無回答	2人



問7:今後のコンサートでの希望ジャンルをお聞かせ下さい。(複数回答あり)

クラシック	33人
ジャズ	14人
ブルース	1人
ロック	2人
ポップス	7人
歌謡曲・演歌	5人
童謡	3人
ワールドミュージック	5人
アニメ	7人
映画音楽	17人
その他	0人
無回答	1人

## 「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2016年度 実施報告書

発行日：2017年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村教育委員会内)

TEL：0744-54-3636 FAX：0744-54-4647

この事業は、明日香村の歴史的風土保存にご尽力頂いた  
故・寺尾勇氏の妻、寺尾栄氏からの寄附金を活用して実施しました。